

内閣府青年国際交流事業報告書2023

# 令和5年度 第47回 「東南アジア青年の船」事業



内閣府青年国際交流事業報告書2023

令和5年度 第47回  
「東南アジア青年の船」事業



## 序

内閣府では、日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の友好と理解を促進するとともに、青年の国際的視野を広げ、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として各種の青年国際交流事業を実施してまいりました。

その中でも、「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年（1974年）に我が国とASEAN加盟国との共同事業として発足したもので、船内や訪問国で生活を共にしながら、討論、ホームステイ、地元青年との交流等様々な活動を通じて、日本及びASEAN諸国の青年相互の友好と相互理解を深めるとともに、国際的視野を広げ、国際化が進展する社会の各分野でリーダーシップを発揮することができる青年を育成することを目的としています。

今年度は、2日間のオンライン交流を経て、全体で10日間の地方プログラムを含めた日程となりました。

地方プログラムでは、グループに分かれて山形県、山梨県、愛知県、長崎県、鹿児島県を訪問し、県庁への表敬訪問、地元青年との交流、ホームステイなどを行いました。また東京プログラムでは、佳子内親王殿下によるご引見や岸田文雄内閣総理大臣への表敬訪問、様々な分野における青年の貢献に関する討論、各国紹介などを行いました。これらのプログラムを通じて、参加青年は、相互理解を深めるとともに、幅広い視野をもつリーダーに成長するための礎となる得難い経験を数多くしたものと確信しています。

令和5（2023）年度は「日本ASEAN友好協力50周年」という節目の年を迎えたことから、加藤鮎子内閣府特命担当大臣の出席の下、関係各国政府、各国事後活動組織及び関係各位に対する謝意の表明と今後の一層の協力要請を行う機会とするため、「日本ASEAN友好協力50周年記念交流会」を都内ホテルにて執り行いました。

この報告書は、参加青年がオンライン及び日本国内で行った様々な活動を記録したものです。また、本事業に対する各国政府代表者等からのメッセージや参加青年による事業評価等も収録しています。この報告書が本事業の内容や成果を御理解いただく際の一助となれば幸いです。

最後に、本事業の実施に当たって御協力いただいた参加各国政府、各国事後活動組織、ホストファミリー並びに地方公共団体及び青少年団体の関係各位に心から御礼申し上げます。

令和6年3月  
内閣府青年国際交流担当室長  
由布 和嘉子

内閣府青年国際交流事業報告書2023  
令和5年度 第47回「東南アジア青年の船」事業

CONTENTS

序	3	<b>第4章 対面交流活動</b>	
カラーグラビア	5	1. 内閣総理大臣からのメッセージ	40
<b>第1章 事業の概要</b>		2. 対面交流活動日程	40
1. 趣旨	22	3. 参集式	49
2. 日程	22	4. 成果発表会・解散式	49
3. 構成	23	5. 帰国	49
4. 経費	23	6. 日本参加青年の事後研修	49
<b>第2章 事業の企画から実施まで</b>		<b>第5章 日本ASEAN友好協力50周年記念行事</b>	
1. 日本参加青年の選考	26	1. 特別招へいプログラム	52
2. 関係各国連絡会議	26	2. 日本ASEAN友好協力50周年記念交流会	54
3. ファシリテーター会議	28	<b>第6章 ディスカッション活動・事後活動セッション</b>	
4. ナショナル・リーダー会議	29	1. ディスカッション活動・事後活動セッションの概要	58
5. 対面交流活動日程の作成	29	2. ディスカッション活動・各グループのレポート	60
6. 日本参加青年の事前研修	30	<b>第7章 本事業に対する評価</b>	
<b>第3章 オンライン交流活動</b>		1. 参加者による事業評価	82
1. 内閣府青年国際交流担当室長挨拶	32	<b>関係資料</b>	
2. オンライン交流活動日程	32	1. 参加者名簿	90
3. 基調講演	33	2. 参加青年の構成等	102
4. NLセッション	38	3. SSEAYPインターナショナル概要	103
5. SGミーティング	38	4. 「東南アジア青年の船」事業実績	104